

辞書に「載せない勇気」 ——下位ランクの語とどう向き合うか

関山健治



◆ BG と G5の橋渡しをする「ふだん使いの辞書」

「令和初」の高校生向け学習英和辞典である『アクシスジーニアス英和辞典』（AG）には、chatbot, Brexiteer, deep learning, e-sport, fake news など、『ジーニアス英和辞典』（G5）や他社の最新版辞書にも立項されていない新語が多く収録されている。一方、ページ数が限られる冊子辞書では、やみくもに単語を増やすことはできない。そのため、辞書の執筆者は「何を載せるか」以上に「何を載せないか」に頭を悩ませることになる。

AG は、『ベーシックジーニアス英和辞典』（BG）と G5 の間を埋める辞書である。難関大学を含めた大学入試や、大学での英語科目にも余裕を持って対応できるように、BG よりも語句を増強する一方、G5 に収録されている下位ランク語を大幅に整理することで、高校生以上の英語学習者が気楽に手を伸ばせる「ふだん使いの辞書」であることをめざした。

筆者は、G5 に収録されている D ランク（無印）の語を中心に、AG の利用者が必要とする語を抽出する作業を主に担当した。BG の見出し語を選定する際に構築した 50 数万語の英語語彙表データベースを活用し、低頻度語の中で AG の利用者が必要とする語はどのようなものかといった原点に立ち返り、以下の 2 点を基本に収録語を選定した。

◆ 学習者が目にする機会の少ない専門語の見直し

G5 に専門分野ラベルをつけて立項されている専門語の中には、大学入試や英語の資格試験、一

般的な英語メディアなどでまず見かけない分野の語も多い。これらの語は、英語母語話者向けの教科書なども参考にしながら大幅に整理した。医学用語を例にとれば、myelitis, Hodgkin's disease といった語は、AG のレベルを超えていると言える。一方、Heimlich maneuver, hyperventilate など、高校生が保健の授業で学習する用語であるのに類書に未収録の語句は、G5 と同様に収録するようにした。

◆ 古めかしい語や使用域が限られる語の見直し

G5 の D ランク語の中には、特定の地域のみで使われる語や、古めかしい語、タブー語なども多く含まれている。とくに《古》や《俗》のラベルのついた語は、実際の英語での出現頻度や、初中級レベルの英語学習者を対象とした英和辞典に必要な語であるかを念頭に置き、採否を慎重に判断した。

◆ 「載っていない」ことも誇れる辞書をめざして

冊子辞書の執筆は限られた紙数との戦いである。引いた単語が出ていないと誰もががっかりするであろうが、執筆者や編者が「AG の利用者は知らなくても心配ない難語である」と判断した結果であると考えてみてはいかがだろうか。収録項目数の多さを誇るオンライン辞書が普及した今だからこそ、利用者の使い勝手を最優先に考え、時には「載せない勇気」をもって収録語句を精選した AG を、ぜひ身体の一部として使いこなしていただきたい。（せきやま けんじ・中部大学准教授）